

1. 上田地域

1-1 地域特性など

- 上田地域は、長野県の東部に位置し、県庁所在地の長野市を中心とした長野地域が北側に隣接しています。長野地域との流動が最も多くなっていますが、東側に隣接する佐久地域との流動も目立ちます。
- 南西側では松本地域・諏訪地域と、北東側では群馬県と接していますが、これらとの流動も一定のものがあります。
- 地域の中心地である上田市街地に公共施設、商業施設、病院、高等学校などが多く立地しているほか、上田盆地南部に位置する丸子地域中心部にもまとまった市街地があり、公共施設等が立地しています。
- 主な観光地として、別所温泉、鹿教湯温泉、菅平高原、湯の丸高原、美ヶ原高原などがあり、首都圏などから多くの観光客が訪れています。

1-2 地域公共交通の概況

- 北陸新幹線が地域を縦貫しており、首都圏と北陸地域を結んでいます。東京駅までは最短で 80 分程度とアクセスが良好です。
- 新幹線の並行在来線として第三セクターのしなの鉄道が運行し、軽井沢駅から篠ノ井駅間を結んでいます。篠ノ井駅で JR 信越本線、JR 篠ノ井線に接続しています。また、上田駅からは上田電鉄別所線が別所温泉駅まで運行しています。
- 路線バスについては、地域間幹線系統として千曲バスの路線が 2 路線、上田バスの路線が 3 路線、計 5 路線が運行されており、これは長野地域に次ぐ規模となっています。
- その他に、市町村界を跨ぐ路線として、事業者運営の路線バスが 4 本、市町村運営のコミュニティ路線が 2 路線あります。
- 地域独自の施策として運賃低減制度が導入されており、多くの事業者路線で運用されています。利用者負担額に上限を設け、不足分を市町村が負担する仕組みで、バス路線の維持、利用促進等に効果をあげています。

1-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、上田市街地へのアクセス、あるいはしなの鉄道の各駅へのアクセスが確保されていることが非常に重要となります。
- 上田地域内の各地域からのアクセスは、上田電鉄及びバス事業者による路線バスにより概ね確保されていますが、長和町から上田市街地を結ぶ和田峠北線（長久保線）については、運行本数が少ない状況です。
- 主要観光地へのアクセスとしては、別所温泉、鹿教湯温泉、菅平高原などは鉄道、路線バスで確保されていますが、地域内には他にも魅力的な観光地が多数あり、その中には二次交通が不足している観光地もみられます。
- 上田市街地から南部方面に運行するバス路線の多くが、上田市の丸子地域を経由していることから、丸子地域にターミナル的な機能を持たせることで、ネットワークとしての効率性が高まることも考えられます。
- 路線によっては、地域間幹線系統補助の要件に合致するものもあるとみられ、補助対象とすることで路線の維持に寄与する可能性も考えられます。

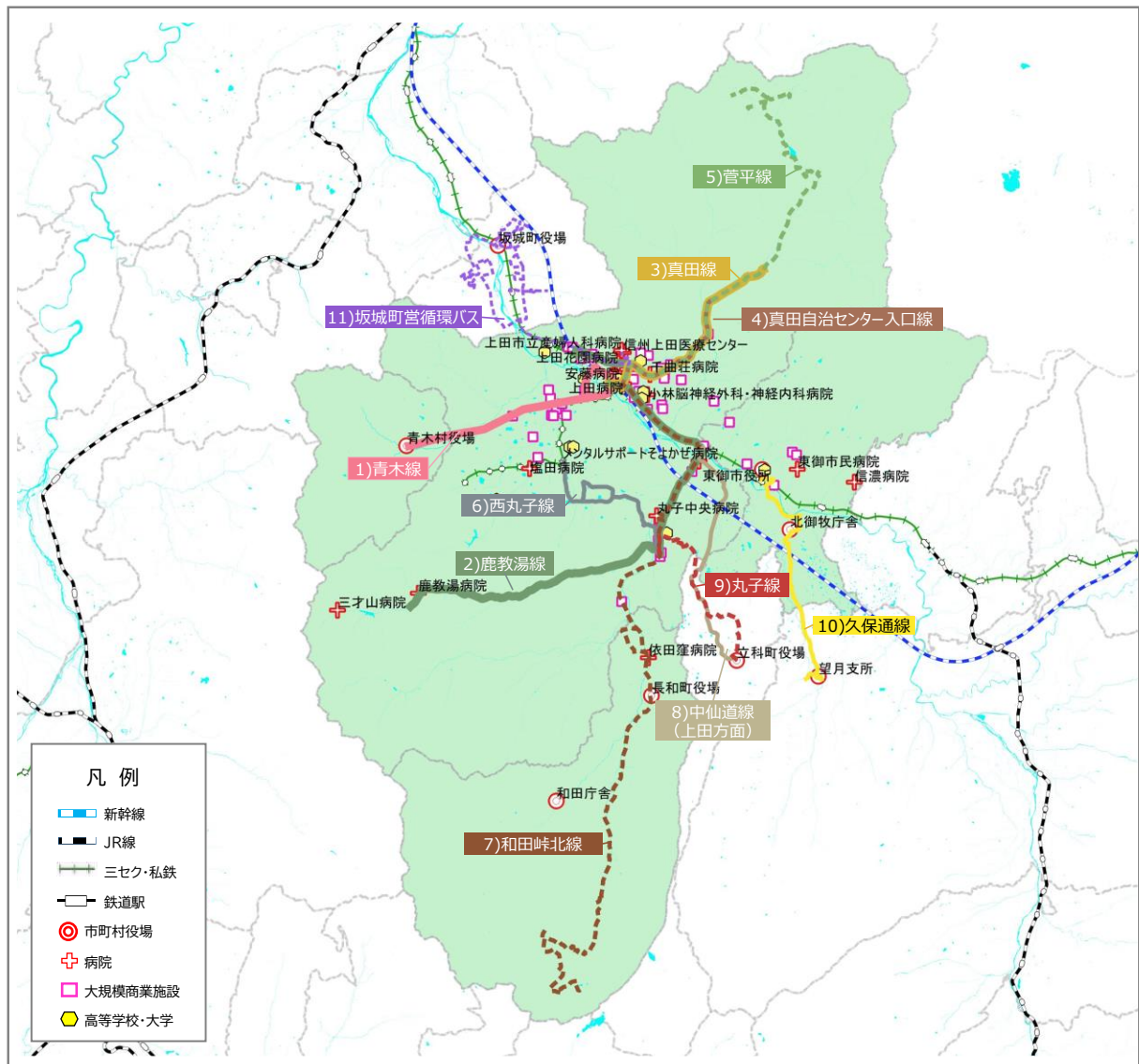
市町村界を跨ぐバス路線の状況

※市町村界は平成の大合併前の区分のもの(要綱に則り)

(データの年次について)

※事業者系路線=令和4年度のもの(国庫申請額は令和6年度)
 ※コミュニティ路線=本事業で調査を実施した令和3年度のもの

No.	路線種別	運行事業者(委託先)	路線名	路線距離	運行便数(往復数)	利用者数(輸送人員)	収支率	国庫申請額(千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	千曲バス	青木線	16.4	11.2	144,376	36.4%	14256.5
2			鹿教湯線	17.8	8.2	143,681	43.7%	11188.0
3		上田バス	真田線	12.2	6.5	27,866	21.1%	1953.0
4			真田自治センター入口線	10.5	8.3	35,058	25.9%	10216.5
5			菅平線	29.8	7.4	81,703	29.3%	17974.0
6	事業者路線 (その他一般路線)	上田バス	西丸子線	12.4	6.5			
7		JRバス関東	和田峠北線(長久保線)	12.0	5.0			
8		東信観光バス	中仙道線(上田方面)	13.4	9.5			
9	丸子線		11.9	5.5				
10	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	東信観光バス	久保通線	14.8	4.0			
11		信州観光バス	坂城町営循環バス	20.6	12.0			



1-4 地域公共交通の将来ネットワーク

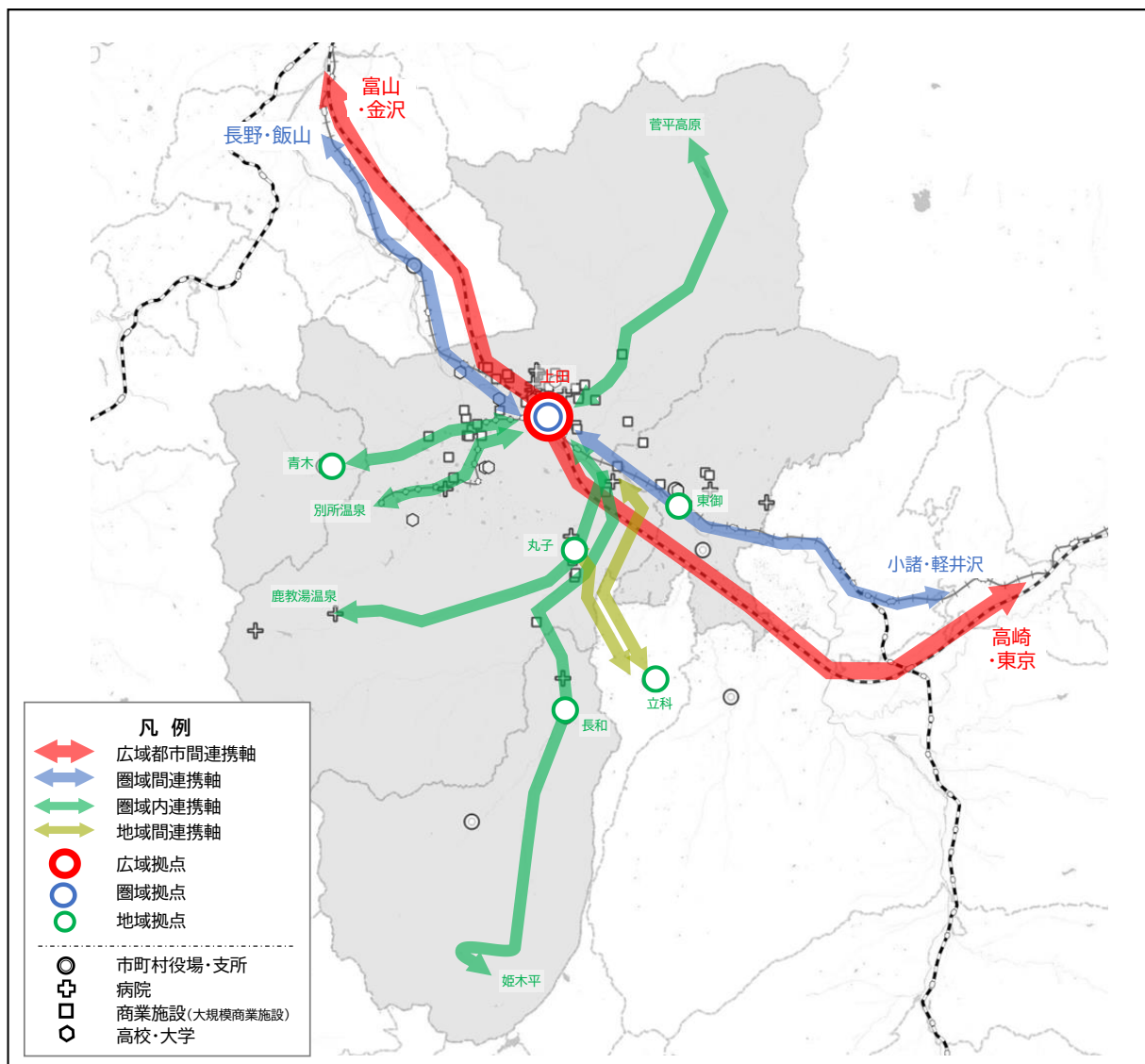
A【広域都市間連携軸】 東京～群馬～長野～新潟～富山～石川

上田地域には、北陸新幹線の上田駅があり、首都圏と北陸圏を結ぶ大きな動線上に位置します。北陸新幹線は、2024年に福井県敦賀市まで延伸することが予定されており、将来的には近畿圏まで接続することが見込まれています。

上田市は東信地域の中心的な役割を担う都市として、交通ネットワーク全体としての拠点性・ハブ機能を高めていけるような具体的な方策について検討していくものとします。

B【圏域間連携軸】 佐久～上田～長野～北信

北陸新幹線の並行在来線として走るしなの鉄道は地域住民の日常移動を支える重要な路線となっています。路線の維持を図るため、圏域間連携軸として位置づけ、運行事業者が沿線市町村とも連携し、路線の活性化、利用促進に取り組んでいくものとします。



C【圏域内連携軸】

圏域内連携軸として、鉄道については、上田電鉄別所線を位置づけます。同路線は地域内の主要な観光地でもある別所温泉を結ぶ軸となります。バス路線については、既存の地域間幹線系統に沿うかたちで、いずれも上田市街地から、1)青木村方面を結ぶ軸、2)上田市真田地域を経て菅平高原を結ぶ軸、3)鹿教湯温泉方面を結ぶ軸、の3つの軸を位置づけ、国・県の地域間幹線系統補助を活用し、路線維持を図ります。これに加えて、上田市街地から長和町を経て和田峠方面を結ぶ軸についても、現行のバス路線である和田峠北線（長久保線）を圏域内連携軸と位置づけ、（必要に応じて）国・県の地域間幹線系統補助の活用についても検討を進めます。

D【地域間連携軸】

地域間連携軸として、隣接する佐久地域から上田地域を結ぶ中仙道線（上田方面）、丸子線及び久保通線の3路線を位置づけます。地域間連携軸の整備にあたっては、丸子市街地のターミナル機能を高めていくことなども効果的と考えられます。

拠点と軸の設定

赤字の箇所は各市町村から追加要望のあった箇所
青字(見え消し)は暫定版のときに含めていた箇所

区分	名称	位置づけ	具体的な路線・拠点	
拠点	広域拠点	・三大都市圏などと接続する 県の玄関口	上田市	・上田(駅・市役所周辺)
	圏域拠点	・圏域の中心地	上田市	・上田(駅・市役所周辺)
	地域拠点	・各市町村内における交通結 節点、目的先施設 ・主要観光地	上田市	・丸子(地域自治センター周辺) ・塩田、川西、豊殿、真田、武石 (地域自治センター周辺) ・大屋駅、下之郷駅 ・菅平高原、別所温泉、鹿教湯温泉
			東御市	・東御(田中駅・市役所周辺) ・北御牧庁舎、東部湯の丸IC周辺
			長和町	・長和(町役場周辺) ・中山道長久保宿、和田宿
			青木村	・青木(村役場周辺) ・道の駅あおき、大法寺、田沢温泉、 沓掛温泉
軸	広域都市間 連携軸	・三大都市圏などに 連絡する軸	鉄道	・北陸新幹線[JR東日本]
	圏域間連携軸	・隣接県や県内の他圏域と 連絡する軸	鉄道	・しなの鉄道[しなの鉄道]
	圏域内連携軸	・市町村間の移動を支え 圏域拠点を結ぶ軸	鉄道	・別所線[上田電鉄]
			バス	・青木線★[千曲バス] ・鹿教湯線★[千曲バス] ・真田線★[上田バス] ・真田自治センター入口線★ [上田バス] ・菅平線★[上田バス] ・和田峠北線☆[JRバス関東]
地域間連携軸	・地域拠点間を結ぶ軸	バス	・丸子線[東信観光バス] ・中仙道線(上田方面) [東信観光バス] ・久保通線[東進観光バス]	

★ = 国・県の地域間幹線系統補助対象路線

☆ = 国・県の地域間幹線系統補助の対象となる可能性がある路線